


## 令和3年度 沿岸広域振興局における重点的に取り組む項目(案)

現状・課題	(A)今後の取組方向	(B)具体的な事業内容	備考
<b>I 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域</b>			
<p>1 各種ハード整備は、概ね順調に進展            未完成の箇所については、着実に工事を進めることが必要</p> <p>2 東日本大震災津波から10年経過し、震災記憶の風化が懸念</p> <p>3 災害公営住宅への入居など生活環境の変化による心身の不調といった新たな課題が生じており、復興のステージに応じた継続的な支援が必要</p> <p>4 震災に加え、平成28年台風第10号災害及び令和元年東日本台風からの速やかな復旧復興が必要</p>	<p>「社会資本の復旧・復興ロードマップ」に基づいて、着実な復旧・復興工事を推進</p> <p>東日本大震災津波の教訓と経験を伝承・発信し、防災文化を育成</p> <p>被災者が抱える課題に対するきめ細かな支援を展開</p> <p>復旧復興を迅速に推進</p>	<p><b>1 復興計画事業の着実な推進</b>            (1) 防潮堤等の津波防災施設の早期完成（計12箇所）            土木部所管：宮古市2箇所、山田町2箇所、大船渡市2箇所            農林部所管：田野畑村1箇所、山田町3箇所、大船渡市2箇所            (2) 復興支援道路、復興関連道路、まちづくり連携道路の早期完成            復興支援道路：国道340号葉山～恵蘇（住田町）            復興関連道路：県道丸森権現堂線下船渡地区（大船渡市）他</p> <p><b>2 水門・陸閘自動閉鎖システムの整備推進</b>            令和2年度末までに水門・陸閘全153箇所のうち106箇所(69%)を自動閉鎖化。残る47箇所の自動化を推進</p> <p><b>1 震災学習による教育旅行誘致の促進</b>            県内小中高の教員を対象とした震災学習説明会をオンラインで開催</p> <p><b>2 高田松原津波復興祈念公園の整備推進</b>            国営追悼・祈念施設周辺、下宿地区の整備を推進</p> <p><b>3 「防災国民推進大会2021」の開催と防災、復興情報の伝承・発信 <span style="background-color: black; color: white;">新規</span></b>            関連イベント（三陸ぐるっと食堂等）等を開催</p> <p><b>4 花のみちプロジェクトの実施</b>            東京都と連携し、復興支援に対する感謝と被災地の情報発信などを目的に花苗を育成し、その一部を東京2020オリンピック野球・ソフトボールの会場において被災地の情報と共に展示</p> <p><b>1 被災者のこころと体の健康づくりを推進</b>            ○ 市町村等と連携し、体組成計等を活用した体験型健康づくり講座を開催            ○ 被災者を支援する機関・団体への健康管理機器の貸与及び活用の支援</p> <p><b>1 復旧、洪水対策の推進</b>            道路、河川改修、河道掘削、立木伐採の推進</p> <p><b>2 砂防堰堤の整備推進</b>            土石流被害のあった溪流への砂防堰堤の整備等</p>	<p>本庁</p> <p>本庁</p> <p>本庁</p> <p>地経費</p> <p>本庁</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>本庁</p> <p>本庁</p>

# 令和3年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目（沿岸広域振興局）

現状・課題	(A)今後の取組方向	(B)具体的な事業内容	備考																																						
<b>Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力ある地域</b>																																									
<p>1 少子・高齢化が進展する中で、地域を支える体制の整備と専門人材の育成・確保が急務</p> <p>■医師偏在指標</p> <table border="1" data-bbox="87 451 551 533"> <thead> <tr> <th></th> <th>釜石</th> <th>宮古</th> <th>気仙</th> <th>岩手県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指数</td> <td>119.3</td> <td>113.7</td> <td>153.1</td> <td>172.7</td> <td>239.8</td> </tr> <tr> <td>全国順位</td> <td>326</td> <td>331</td> <td>250</td> <td>46</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全国335二次医療圏における順位(岩手県は都道府県順位)</p> <p>2 沿岸圏域では、65歳未満の生活習慣病に起因する死亡率が高く、働く世代の生活習慣の改善が必要</p> <p>■65歳未満年齢調整死亡率</p> <table border="1" data-bbox="87 962 499 1070"> <thead> <tr> <th></th> <th>釜石</th> <th>宮古</th> <th>大船渡</th> <th>岩手県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん</td> <td>52.45</td> <td>45.03</td> <td>52.65</td> <td>45.89</td> </tr> <tr> <td>心疾患</td> <td>27.79</td> <td>20.37</td> <td>24.30</td> <td>16.92</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患</td> <td>23.71</td> <td>17.50</td> <td>7.01</td> <td>12.89</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H28～30の3か年平均・人口10万人対</p> <p>3 ラグビーワールドカップ 2019™のレガシーや各地のスポーツアクティビティの活動と地域活性化施策との連携が必要</p>		釜石	宮古	気仙	岩手県	全国	指数	119.3	113.7	153.1	172.7	239.8	全国順位	326	331	250	46	-		釜石	宮古	大船渡	岩手県	がん	52.45	45.03	52.65	45.89	心疾患	27.79	20.37	24.30	16.92	脳血管疾患	23.71	17.50	7.01	12.89	<p>「地域包括ケアシステム」の構築及びそれを支える医療・介護人材の確保と資質向上を推進</p> <p>働く世代等に向けた生活習慣病予防と高齢者の健康づくりを支援</p> <p>スポーツを生かした人的・経済的交流を促進</p>	<p>1 医療人材の確保</p> <p>(1) 高校生対象の医療職進路選択セミナーの開催 県立病院での院長講話、各職種や奨学金制度の説明及び病院見学等</p> <p>(2) 医学部進学を目指す高校生等への支援 高校の進路指導担当教員との情報交換、医学部進学講座・オープンキャンパス参加旅費の支援、中学生・保護者への医師奨学金制度の周知</p> <p>2 介護人材の確保 介護職員の賃金改善及び働き方改革に関する研修会及び相談会の開催や、介護事業所における離職防止の取組を支援</p> <p>3 医療職・介護職の資質向上 医療安全研修会や感染症対策研修会の開催や、医療機関立入検査等における感染症対策への取組の確認、集団指導等での優良事例の紹介</p> <p>1 働く世代の健康づくりの支援 体組成計や歩数計等を活用した体験型・参加型健康づくり講座の開催による働く世代の健康づくり推進と、健康づくりが実践しやすい職場づくりを支援</p> <p>2 高齢者の健康体力づくり及び栄養増進の支援 スーパー等での体組成計や血管年齢計を活用した「健康づくり応援！」キャンペーンを通じた普及啓発による高齢者の健康体力維持・栄養増進を支援</p> <p>3 健康づくりを実践しやすい食の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スーパー等に対し、減塩や野菜摂取など健康に配慮した弁当・惣菜の提供を支援</li> <li>○ 弁当・惣菜コーナーにおける「健康習慣呼びかけカード」等の活用を支援</li> <li>○ テイクアウトを行う飲食店における栄養成分表示を支援</li> </ul> <p>4 被災者のこころと体の健康づくりを推進 <b>再掲</b></p> <p>1 スポーツを活用した地域の活性化 市町村、関係団体、交通機関等と連携し、地域活性化のモデル事業として、スポーツアクティビティなどの地域資源を活用した先導的な取組を支援</p>	<p>本庁</p> <p>本庁</p> <p>本庁 地経費</p> <p>本庁</p> <p>地経費</p> <p>本庁</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p>
	釜石	宮古	気仙	岩手県	全国																																				
指数	119.3	113.7	153.1	172.7	239.8																																				
全国順位	326	331	250	46	-																																				
	釜石	宮古	大船渡	岩手県																																					
がん	52.45	45.03	52.65	45.89																																					
心疾患	27.79	20.37	24.30	16.92																																					
脳血管疾患	23.71	17.50	7.01	12.89																																					

## 令和3年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目（沿岸広域振興局）

現状・課題	(A)今後の取組方向	(B)具体的な事業内容	備考												
<b>Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域</b>															
<p><b>【ものづくり産業】</b></p> <p>1 人口減少による労働力不足が顕著になっている一方、労働者のニーズに合った求人が不足</p> <p>■有効求人倍率</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>釜石</th> <th>宮古</th> <th>大船渡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元.9</td> <td>0.99</td> <td>1.29</td> <td>1.56</td> </tr> <tr> <td>R2.9</td> <td>0.92</td> <td>1.02</td> <td>1.18</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【観光】</b></p> <p>1 沿岸圏域の観光入込数は、増加しているものの、震災前までの水準に未達</p> <div style="margin-left: 20px;">  <p style="font-size: small;">(万人) 観光客入込数(沿岸エリア)</p> </div>		釜石	宮古	大船渡	R元.9	0.99	1.29	1.56	R2.9	0.92	1.02	1.18	<p>生産性の高い産業の育成と、魅力的な就業・定着環境の整備を支援</p> <p>復興道路や三陸鉄道の開通、東北DCやぼうさいこくたい等を契機とした誘客を促進 新型コロナウイルス禍でのニーズに応じた観光産業の育成を推進</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>カイゼンの定着支援と中核企業の生産性向上</b> トヨタ自動車東日本(TMEJ)の協力により、水産加工業等を対象にカイゼンの定着を支援</li> <li>2 <b>ものづくり産業の人材確保・育成支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものづくり人材養成講座を開催</li> <li>○ 企業ガイドの作成や企業見学会の開催を支援</li> </ul> </li> <li>3 <b>地域の建設企業の担い手確保 <span style="background-color: #e0e0e0;">新規</span></b> 建設業の担い手育成・確保、新規入職者の安定的な確保に向けた取り組みを実施</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>新しい生活様式を踏まえた新たな観光ニーズの取組 <span style="background-color: #e0e0e0;">新規</span></b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係者を対象にしたセミナーの開催や企業向け体験会の開催などによりワーケーションの誘致を促進</li> <li>○ モデルコースの策定などにより、マイクロツーリズムの普及を促進</li> </ul> </li> <li>2 <b>新たな交通ネットワークを生かした内陸や隣県、北海道と沿岸圏域を結ぶ広域観光の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 隣県自治体や北海道胆振振興局との連携により県外からの誘客を促進</li> <li>○ 震災学習と連携した教育旅行の誘致を促進</li> <li>○ 東日本大震災津波伝承館をゲートウェイとした旅行商品を造成・催行</li> <li>○ 道の駅の広域連携により誘客を促進</li> </ul> </li> <li>3 <b>東北DCや「防災国民推進大会 2021」等大型イベントに向けた情報発信の強化と受入態勢の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三陸ジオパークや潮風トレイルなどとの連携も視野に入れたフォトロゲイニング大会を開催</li> <li>○ 東北DCにおける沿岸圏域への誘客促進のため、郷土芸能団体が出演する歓迎イベントを開催</li> <li>○ インバウンド誘致セミナー及び外国人観光客受入講習会を開催</li> <li>○ 「三陸ぐるっと食堂」等の関連イベントを開催</li> </ul> </li> <li>4 <b>国内外に向けた情報発信の強化</b> さんりく旅するべ(日本語・英語)により国内外に向けて観光情報を発信</li> </ol>	<p>広域</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>広域 地経費</p> <p>広域 地経費</p> <p>広域 地経費</p> <p>地経費</p>
	釜石	宮古	大船渡												
R元.9	0.99	1.29	1.56												
R2.9	0.92	1.02	1.18												

## 令和3年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目（沿岸広域振興局）

現状・課題	(A)今後の取組方向	(B)具体的な事業内容	備考																															
<b>Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域</b>																																		
<p><b>【農林業】</b></p> <p>1 地域特性を十分生かした農産物の産地化を図ることが必要</p> <p>■主要園芸品目の生産面積(ha)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>ブロッコリー</th> <th>ピーマン</th> <th>トマト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>20.1</td> <td>4.8</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>27.9</td> <td>6.2</td> <td>3.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 対策にも関わらず、鳥獣被害は拡大しており、対策の強化が必要</p> <p>■野生鳥獣被害額(R元、百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>釜石</th> <th>宮古</th> <th>大船渡</th> <th>計</th> <th>岩手県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>65</td> <td>402</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 需要の拡大を図るため、停滞している地域材の流通を回復させる取組が必要</p> <p>4 地域特性を生かした特用林産物の生産技術の継承と販路の拡大が必要</p> <p><b>【水産業】</b></p> <p>1 主要魚種の漁獲不振や高齢化に伴う就業者の減少への対策が必要</p> <p>■漁業の担い手</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁業経営体数(経営体)</td> <td>5,204</td> <td>3,317</td> </tr> <tr> <td>漁業就業者数(人)</td> <td>9,948</td> <td>6,330</td> </tr> </tbody> </table>	品目	ブロッコリー	ピーマン	トマト	H29	20.1	4.8	1.1	R元	27.9	6.2	3.2	釜石	宮古	大船渡	計	岩手県	32	16	17	65	402		H20	H30	漁業経営体数(経営体)	5,204	3,317	漁業就業者数(人)	9,948	6,330	<p>地域特性を生かした収益性の高い園芸産地づくり等による「儲かる農業」を推進</p> <p>被害の防止や捕獲促進に向けた取組を支援</p> <p>地域材の利用促進と高付加価値化を推進</p> <p>原木しいたけの栽培技術向上とブランド化を支援</p> <p>資源回復の取組と合わせて、新規就業者の確保や核となる経営体の育成による漁業生産量の回復・向上及び地域特性を生かした水産物の付加価値向上と水産加工業の振興を推進</p>	<p>1 儲かる農業の推進 <b>一部新規</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ブロッコリー、ピーマン、畑わさび、トマト等主要品目の新規栽培者確保と収益性向上に向けた取組支援</li> <li>○ 子牛死廃事故低減や乳質改善のための研修会開催及び技術実証支援</li> </ul> <p>1 農林業に係る鳥獣被害対策の支援 <b>一部新規</b></p> <p>モデル地域における捕獲支援隊の設置や、ICT 技術等を活用した効率的な捕獲対策、良質ジビエ肉の供給に向けた事業者の取組等を支援</p> <p>2 再造林の加速化支援 <b>新規</b></p> <p>シカ被害軽減に向けた、初期育林技術（大苗植栽、忌避剤等）の実証や低コスト造林技術の普及を支援</p> <p>1 非住宅部門における地域材利用の促進 <b>新規</b></p> <p>商業施設木質化等のモデル施設整備や、見学会の開催、パンフレット・カタログの作成等を実施</p> <p>1 原木しいたけのブランド化促進</p> <p>生産者の技術研鑽（品評会・研修会の開催）や、販促活動（台湾への高価格販売ルート確立、商談会出展等）等を支援</p> <p>1 ホタテガイの県産種苗の安定生産 <b>新規</b></p> <p>ホタテガイ県産種苗の利用拡大に向けた新たな稚貝供給体制や調査手法の規格化等を検討</p> <p>2 水産業に係る担い手の育成 <b>新規</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宮古水産高等学校等における中学生を対象とした出前授業の開催や実習体験の実施</li> <li>○ 水産業への就業を促進するための水産関係者による意見交換会の開催</li> </ul> <p>3 水産物のブランド化</p> <p>地域産品の魅力拡大と PR に向け「宮古の真鱈」「いわて三陸サーモン」のブランド化・知名度向上等の取組を支援</p>	<p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p>
品目	ブロッコリー	ピーマン	トマト																															
H29	20.1	4.8	1.1																															
R元	27.9	6.2	3.2																															
釜石	宮古	大船渡	計	岩手県																														
32	16	17	65	402																														
	H20	H30																																
漁業経営体数(経営体)	5,204	3,317																																
漁業就業者数(人)	9,948	6,330																																

令和3年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目（沿岸広域振興局）

現状・課題	(A)今後の取組方向	(B)具体的な事業内容	備考
<b>Ⅳ 「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」の推進</b>			
<p>1 震災の記憶・教訓の伝承と三陸の多様な魅力の一層の発信が必要</p> <p>2 新たな交通ネットワークを効果的に活用した地域振興の取組が必要</p> <p>3 三陸ジオパークにおける住民参画の拡充が必要</p> <p>4 三陸地域の特性や資源を活用した地域振興の取組が必要</p>	<p>防災力の向上に向けた、教訓・経験や復興情報の発信を強化</p> <p>三陸鉄道や復興道路等の新しい交通ネットワークを生かした取組を推進</p> <p>三陸ジオパークやみちのく潮風トレイルの取組への住民の参画を促進</p> <p>豊かな食やスポーツなど、三陸の地域特性を生かした地域振興を推進</p> <p>復興とその先の地域振興をけん引する人材の育成を推進</p> <p>地域の多様な主体との連携・協働により、持続的な発展を実現する地域づくりを推進</p>	<p><b>■「防災」で世界とつながる三陸</b></p> <p>1 「防災国民推進大会 2021」の開催と防災、復興情報の伝承・発信 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></p> <p>2 震災学習による教育旅行誘致の促進 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></p> <p>3 花のみちプロジェクトの実施 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></p> <p><b>■多様な交通ネットワークで国内外とつながる三陸</b></p> <p>1 新たな交通ネットワークを生かした内陸や隣県、北海道と沿岸圏域を結ぶ広域観光の推進 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></p> <p><b>■ジオパークで世界とつながる三陸</b></p> <p>1 ジオパークを活用した環境学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動団体等による子供たちを対象とした環境学習を実施</li> <li>○ 地域住民との協働による海洋ごみ回収活動を実施</li> </ul> <p>2 みちのく潮風トレイルを活用した交流人口の拡大</p> <p style="padding-left: 20px;">ハイカー、地域住民対象のコース歩行体験や交流会を開催</p> <p>3 ジオパークを活用した誘客促進</p> <p style="padding-left: 20px;">東北DCや「防災国民推進大会 2021」等大型イベントとの連携も視野に入れたフォトログイニング大会の開催等</p> <p><b>■世界に誇れる食やスポーツでつながる三陸</b></p> <p>1 三陸ぐるっと食堂の開催</p> <p style="padding-left: 20px;">ご当地グルメの提供と地域情報を発信するイベントを開催</p> <p>2 スポーツを活用した地域の活性化 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></p> <p><b>■次代を担う人材の育成</b></p> <p>1 三陸マリンカレッジの開催</p> <p style="padding-left: 20px;">東京大学大気海洋研究所・国際沿岸海洋研究センターとの協働による中学生を対象とした地域学習の取組を実施</p> <p>2 三陸創生実践塾の開催</p> <p style="padding-left: 20px;">市町村若手職員の政策形成能力の向上及び人材ネットワーク構築を目的とした研修プログラムを実施</p> <p><b>■多様な主体の参画と協働によるプロジェクトの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村や地域のNPO、事業者、生産者や各種団体などとの柔軟な連携・協働体制の構築により、各取組を推進</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地経費</span></p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地経費</span></p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">広域</span></p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地経費</span></p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地経費</span></p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地経費</span></p>

令和3年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目（沿岸広域振興局）

現状・課題	(A)今後の取組方向	(B)具体的な事業内容	備考
<b>V 新型コロナウイルス感染症対策の取組</b>			
<p>1 感染症に対する過度な不安感や影響の長期化により、地域住民にみられるに精神的な疲労の解消が必要</p> <p>2 震災に加え、新型コロナウイルス感染症により地域経済への深刻な影響が生じており、適切な支援が必要</p> <p>3 沿岸圏域の事業者においては、コロナ禍におけるインターネット販売の急伸に十分対応できておらず、こうした仕組みを活用した新たな販路の確保が必要</p>	<p>新しい生活様式に係る正確な情報に基づく普及啓発を推進</p> <p>コロナ禍への対応を踏まえた、企業の経営力向上のための取組を支援</p> <p>産直施設・漁協等におけるインターネットを活用した販路開拓・拡充を支援</p> <p>県産品のインターネットを活用した販路開拓支援</p>	<p><b>1 新しい生活様式についての普及啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村広報等を通じた住民への正確な情報提供を更に徹底</li> <li>○ 児童・生徒を対象とした健康教育を推進するとともに、教職員を対象とした研修会を開催</li> <li>○ 医療機関を対象とした医療安全研修会等を開催</li> <li>○ 児童・介護・障がい者施設等の職員を対象とした集団指導及び実地指導を実施</li> <li>○ 飲食や宿泊観光等の事業者を対象としたセミナーを開催</li> </ul> <p><b>1 企業経営力の強化支援</b> 大手コンサルタント会社と連携して、新しい生活様式に対応した企業経営への転換に取組む事業者に対する経営指導を支援</p> <p><b>2 宿泊・飲食業等の経営力向上支援</b> コロナ禍における経営方針や店舗等における感染症対策について、専門家の指導による経営の立て直し・強化を支援</p> <p><b>1 産直施設の新しい生活様式への対応と販売額向上に向けた取組支援</b> 新商品の開発や通信販売の拡大など、新しい生活様式に対応した産直施設の取組を支援</p> <p><b>2 漁協等の新しい生活様式への対応と販売額向上に向けた取組支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通信販売事業への新規参入や取組強化を目指す漁業協同組合等に対し助言指導するアドバイザーを派遣</li> <li>○ 通信販売事業への新規参入等に必要の初期投資費用を支援</li> <li>○ アドバイザー派遣などにより、通信販売において消費者への訴求効果が高いB to C商品等の開発を支援</li> </ul> <p><b>1 販売チャンネル多様化支援事業</b> 県産品を扱う事業者の自社ECサイトの構築・運営支援</p>	<p></p> <p style="text-align: center;">[広域]</p> <p style="text-align: center;">[地経費]</p> <p style="text-align: center;">[地経費]</p> <p style="text-align: center;">[地経費]</p> <p style="text-align: center;">[広域]</p>